
無 名 会



幹事長 津久井 照 保

はじめに

無名会は、日本弁理士クラブを構成する5会派の1つです。創設は大正11年（1922年）であり、創立82年という長い伝統を有しております。

現在、我々弁理士を取り囲む環境は、知的財産の創造と利用を梃子に日本を変えようという小泉首相の方針により、従前に例を見ない大きな変動を遂げておりますが、無名会では先輩から引き継がれております無名会の良さを活かし、幅広く会員の交流を図り、互いに切磋琢磨し、激動期を乗り越えつつあります。

無名会の良さは、その創設以来の理念に礎があります。無名会の理念は「弁理士を一生の天職とする者が、互いに手を取りあって、互いに喜び、互いに憂い、共々に長短相補い、その天職を全うすることを理想とする。」というものです。そして、この理念に起因するのでしょうか、無名会は上下の隔てがなく、ベテラン弁理士から新人弁理士までが何でも自由に意見交換できるクラブです。

以下に、無名会の委員会や同好会を含めて、主な活動内容を簡単に説明させていただきます。

無名会の組織と活動

無名会の最高意思決定機関は総会ですが、総会で決議を求める事項を予め審議し、また、総会で決定するまでもない事項を審議・決定する機関として幹事会があります。この幹事会は、議長役の幹事長（1名）、幹事長代行（2名）、副幹事長（若干名）、常任幹事（若干名）、幹事（若干名）、庶務幹事（2名）、会計幹事（2名）から構成されております。

各委員会は以下の通りです。

1. 人事委員会

人事委員会は、日本弁理士会や日本弁理士クラブ（日弁）の各委員会の委員の推薦、無名会内の委員会の委員推薦など会員の人事一般を担当します。また、人事委員会は、日本弁理士会の役員選挙に際しては選挙対策委員会となり、人事委員長は選挙対策委員長を兼任します。従いまして、この人事委員会は、無名会の要となる重要な委員会です。

2. 政策委員会

政策委員会は、日本弁理士会の諸々の政策に関し、日本弁理士クラブを通して無名会としての意見を検討する委員会です。すなわち、日本弁理士クラブの政策委員会の諮問事項に対応する事項を無名会の内部で検討することを重要な任務としております。また、無名会の運営に関する事項、今後の政策に関しても検討することを任務としております。従いまして、この政策委員会も、無名会の現在及び将来を担う重要な委員会です。

3. 研修委員会

無名会の活動の中で重要な地位を占める研修を計画・実行する委員会です。ご存知の通り、特許法をはじめとする知的関連法は頻繁に法律改正が行われておりますが、この法改正に会員が追従できるように、最新の情報に基づき、その時のテーマに合った優秀な講師を外部から招いて、あるいは無名会の会員が講師役となり研修会を開催しております。また、法改正関係に限らず、注目される判例や訴訟関係事項など毎回工夫をこらした多様な研修会を開催しております。今年は、改定審査基準についての研修、特定侵害訴訟代理の能力担保研修の効果確認試験に備えるための研修会なども開催しております。

また、当委員会の下に、特許判例研修会、意匠・

商標判例研修会、外国特許制度研修会、弁理士の仕事を考える会などの常設研修会も設けております。

4．会誌委員会

無名会の会誌「無名」を編集・発行することを主な任務としています。「無名」は年1回の発行ですが、無名会の紹介にはじまり、その年の活動内容の報告は勿論のこと、会員から寄せられたエッセイなども掲載しております。

5．企画委員会

日本弁理士会役員定時選挙の結果を受けた当選祝賀会(稲門弁理士クラブと合同開催) 弁理士試験合格祝賀会、新年会等の企画・実行を任務とする委員会です。弁理士試験合格祝賀会は、年々合格者が増加しており、多くの合格者が参加してくれることは誠に嬉しい限りですが、会場の収容人数や会員の負担などの解決すべき課題も出てきました。新年会は、新年を皆で祝うだけでなく、本年度の叙勲、褒章を受けられた会員のお祝いを兼ねて行うものです。

6．福利厚生委員会

会員相互の親睦活動を促進することを任務とする委員会です。代表的な活動としては、旅行会の企画・実行があります。本年度の旅行会は、9月20日～21日に長野県の戸倉上山田温泉に出かけ、宴会だけでなく、勉強好きな無名会員の期待に応えるべく効果確認試験に備えた研修会も併せて開催しました。そして、2日目は、ゴルフ組と観光組に別れ、観光組

の会員は本場長野のそば打ちを体験し、自分が打ったそばに舌づつみを打つなど貴重な経験をしてきました。

また、この委員会は、任意団体としての同好会を有しており、支援しています。現在、ゴルフ同好会、テニス同好会、卓球同好会、ボーリング同好会、将棋同好会、麻雀同好会、釣り同好会、ジャズ同好会、ワイン同好会などがあります。

7．情報委員会

最新の情報を迅速に提供することを目的とする委員会として発足し、現在、ホームページの運営と管理を主な任務としております。

本年度の無名会

ところで、無名会では毎年キャッチフレーズを掲げて活動しておりますが、今年は「顔出して楽しもうよ無名会」です。無名会は楽しい会であって欲しいとの願いが基本にあります。楽しい会であるためには、先ず知り合いを増やすことであり、委員会や同好会に積極的に「顔を出す」ことが切磋琢磨のきっかけになると思います。

おわりに

会員数270名の比較的小さなクラブですが、日弁を通して日本弁理士会の発展に尽力する所存ですので、今後ともどうぞよろしく申し上げます。